

# Geriatric Nutritional Risk Index as a Simple Predictor of Mortality in Maintenance Hemodialysis Patients: A Single Center Study

|       |  |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: en<br>出版者:<br>公開日: 2019-02-08<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 高橋, さやか<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.20780/00032092">https://doi.org/10.20780/00032092</a>                  |

## 主論文の要旨

Geriatric Nutritional Risk Index as a Simple Predictor of Mortality in Maintenance Hemodialysis Patients: A Single Center Study

(維持透析患者における死亡予測因子としての GNRI)

東京女子医科大学内科学 (第四) 教室  
(指導: 新田 孝作教授)  
高橋 さやか

International Journal of Clinical Medicine, 2015, 6, 354-362 に掲載

### 【要 旨】

維持透析患者において、栄養不良は死亡リスクと関連している。

GNRI (geriatric nutritional index) は栄養不良のリスクを評価するツールとして、開発された。本研究の目的は、維持透析患者の死亡予測において、GNRI の有用性を調査することである。

平均年齢  $59.2 \pm 12.8$  才の 259 人の維持透析患者を 36 か月間観察し、後ろ向きコホート研究にて調査した。患者は GNRI 値 91 を境界に 2 つのグループに分類し、総死亡率はカプランマイヤー解析とコックス比例ハザード解析にて比較した。

36 ヶ月の観察期間中に 26 人が死亡した。カプランマイヤー解析では GNRI  $\geq 91$  ( $n=230$ ) の患者よりも、GNRI  $< 91$  ( $n=29$ ) の患者の方が、生存率が低かった。コックス比例ハザード解析では、GNRI は総死亡を予測する独立した危険因子であることが証明された。

以上の結果から、GNRI は維持透析患者の総死亡を予測する重要な因子であることが判明した。